

## 第3回美祢市総合計画審議会 議事録

日時 令和6年7月10日（水）13時30分から15時45分まで

場所 美祢市市民会館 大会議室

### 出席者

- ・出席委員13人 進士会長、藤井副会長、小林副会長、磯部委員、水野委員、青木委員  
折田委員、末岡委員、高須委員、松原委員、本山委員、森脇委員、山田委員
- ・欠席委員7人 井町委員、野原委員、加藤委員、竹尾委員、田中委員、中元委員、山本委員
- ・事務局 佐々木部長ほか5人

### 議事内容（要点筆記）

#### 1 開会

事務局により開会～資料確認

#### 2 市長挨拶

篠田市長 挨拶

#### 3 会長・副会長の選出

委員の互選により、新たに、進士委員が会長、藤井委員が副会長に選出  
進士会長 挨拶

#### 4 第二次美祢市総合計画基本構想の変更について（諮問）

篠田市長より進士会長へ諮問

#### 5 協議事項

##### （1）基本構想の変更について

事務局より資料1・資料2について説明

- 副会長 総合計画審議会の男女比が半々になっていない。市民みんなで考えるのなら半々にすべき。次回の委員の人選では念頭に置いていただきたい。
- 副会長 基本目標で行財政運営を自治体経営に変更している。自治体経営という言葉を使用する意図を説明してほしい。
- 事務局 少子高齢化が進む中で変化やリスクが顕在化している中で、限られた経営資源を有効活用し、市民と一体的になった柔軟な行財政運営が必要。厳しい財政状況の中で、変化にスピーディーに対応していくという点を示させていただくため。
- 副会長 経営というものをどう考えているか。今までのやり方と何が変わっていくのか。
- 事務局 1つには、リスク管理というものがある。自治体の財政資源をはじめ様々な資源が限られている中で、PDCAなどのマネジメントサイクルの視点で行うこと、リスク管理、マネジメント管理に、今まで以上に力を入れていく。
- 副会長 経営というのはリスク管理というのは大事だと思う。一方で、民間では、費用対効果

というか、儲かっているかどうかという点が必要になると思う。行政は損益というよりも、平等、公平という観点から物事をなしていると思う。財政的にひっ迫している中、赤字を出さないという観点も経営の一つかなと思っている。その点はいかがか。

- 委員 運営と経営という言葉もあるが、行財政と自治体という部分もある。お金だけではない大きな意味で、単に収支のことだけでなく、リスクを含んだ経営なのでは。すごく早口で説明しているが、ゆっくり端的に説明すればよいのではないだろうか。
- 会長 市民との共感が必要。財政が厳しい中では。今ここにいるメンバーが理解する仕組みが必要。
- 委員 こどもの記載があるが、美祢市は少子高齢化であると思うが、まちを歩いていて妊婦を見かけない。そういった方々と行政が話すような場はあるのか。
- 事務局 定期健診などで保健師が妊婦さんと密接にコミュニケーションをとっている。こども家庭センターでも保健師が出産から子育てまで寄り添った形で相談を受けている。こどもまんなか社会づくりの中では、こどもや若者の意見を聞くような話がある。
- 委員 美祢市の良い政策を知らないという方がいると思う。若者が定住する施策も大事。
- 委員 全体を見て気づいたが、基本理念に違和感がある。基本理念を読み込むと、観光と産業、そのプロモーションが主となっているが、その下の基本目標ではそれ以外にも人材育成、安全安心などがある。計画の構想を見たときに、基本理念から5つの基本目標に文脈が繋がらないイメージがある。基本理念から基本目標への流れに補足をつけるなどできるなら検討していただきたいがどうだろうか。
- 事務局 前回策定時は、人口減少が進む中、特に若者・女性の定住の一つの手段として、観光や、産業振興をし、定住の選択肢としての雇用の場や、観光を盛り上げていくことで、人口減少の抑制ということから、これらを中心とした書きぶりとしている。5つの目標とのつながりについては、若干不足する部分があることはご指摘のとおりだと思う。ご意見があれば見直すことは可能なので、まちづくりの基本的な考え方や、指針について皆様から意見をいただきたい。
- 会長 デジタル化が大きなキーワードとなっている。どのように目標に取り組んでいくか、事例などあるだろうか。
- 事務局 後ほどお示しする基本計画の中で概要を説明させていただく。
- 事務局 事務局から想いをいただきたい旨をお伝えしたが、基本構想、基本理念にこだわらず、事務局として整理するのでどんな意見でもいただきたい。
- 副会長 今回は後期計画をということだが、第二次美祢市総合計画を見させていただいた感想を言うと、目標のどれもこれもが同じ平面上に並んでいるように感じた。何がやりたいのか見えにくい。本当に一番やりたいことは何か分かりづらい。例えば、第三次の計画のときには、具体的にこれとこれをやりたいという計画にした方がいいのではないか。
- 副会長 副会長と同じ意見。全てを同じ配分でうたっているのが特色、特徴が分からない。こども笑い声が響くという言葉のフレーズがすごく好きで、私はこどもを中心としていくべきだと思う。ただし、ここで市の宝となる人の育成だけを取り出せというのは難しいことは分かる。財源も限られているので、強弱がつけられるのであればそれも必要では。
- 委員 今の2人から意見があった件で、総合計画は行政だけで作るのではなく、市長が諮問して委員会で議論して市長に答申するもの。事務局任せではなく、ここで何をもっと表に出す、強弱は何か、議論があるべきで、いろいろな分野の委員が意見を出すべきだと思う。
- 委員 委員と事務局が協力して作成していくべき。
- 事務局 いただいた意見はもっともで、事務局で整理させていただく。総合計画は市の最上

位計画で総花的な書きぶりになっている。もう少し絞り込んだ形でもいいのではという点は、今回の計画での見直しは難しいので、次期計画時に検討していく。今回は、社会情勢によって5年間で見直しが必要になった部分の見直しをさせていただきたい。

○会長 全体はこれで、次回の会議に修正案を見せていただく。

## (2) 第二次美祢市総合計画後期計画について

事務局より資料3について説明

### 【質疑】

○副会長 序章のところに従来は2章にあった計画の位置づけ、期間を最初にもっていくのは良いと思う。

○委員 19ページの未達成が多くあるが、少しでも数を少なくしていただきたい。

○副会長 評価の部分で未達成が多いのでその要因をと思うが、こんなに達成したのかという風にも感じている。詳細までは見ていないが、計画が動き出して以来、すごくよくなったという感じがなかったので。事務局では分析されているか。

○事務局 第1回の会議でそれぞれの資料を示しているところであるが、安全・安心なまちづくりのところの未達成が多い。これはコロナの影響が大きく、人の移動に係る指標の回復が間に合っていないもの、人口が減少していく中で、総体的にその影響をうけているもので達成できていないものが関係している。前期の結果を踏まえて、後期で新たな指標を定めて取組を進めていく。

○会長 12ページのアンケート結果では、こども中心のまちづくりと言っているが、否定的な意見が強いように思う。今後考えないといけないと思う。

○副会長 アンケート結果だけでははっきりしない部分がある。グループワークなども前はあった。中高生と話すことで分かることもあると思う。

○会長 前は地域別での分析があった。年齢別も必要ではないか。

○委員 美東町では来年小学校が1校になってしまう。地区に子どもがいない、小学校が遠くなる。具体的なまちづくりを示していただきたい。

○会長 若い人の意見が気になる。

○委員 アンケートを見ていて、公共交通では、私たちの世代では自分の車で移動するが、中高生や車を持っていない高齢者などは、買い物など歩いていけないといけない。公共交通機関は重要だが、人口が少ない中で利益が出ないと難しいというのも分かるが、大事な分野であると感じる。

○事務局 これまで直接住民と原課がコミュニケーションをとったものを案として出させていただいている。今回、案として出したものが、皆さんの実感に合っているのか、足りないものはないか、御意見をいただきたい。

○事務局 公共交通の充実を求められているが、公共交通計画を昨年度から見直している。高齢者は100円で路線バスに乗れることや、自家用有償旅客運送を運営している。各分野でも、前期の状況を踏まえて、後期計画を作成していくこととしている。

○委員 13ページに美祢市で暮らし続けるために必要なことで、2番目に医療機関や福祉施設が整っていることとある。基本目標の安全安心なまちづくりで、高齢者や障害者など支援が必要な人が安心して暮らせるようにとあるが、今、介護施設とか事業所の撤退が進んでいる。事業所だけでの努力ではどうにもならないことがあるので、市として自宅で暮らせる人の支え、高齢者のために考えていくべきことがあると思う。

- 会長 どの公共交通機関も運転手が足りない。自動運転なども検討していただいていると思う。働く場が充実していること、というのが13ページに出てくるが、ここはどうだろうか。
- 委員 この部分について、12ページには希望する仕事がないとある。もう少し市内の企業をアピールする場があっても良いと思う。商工会には600の会員がいる。アウトプットが足りない部分があり、次の計画には反映すべきと感じている。
- 委員 美祢市にはすばらしい企業がたくさんある。2年前から生涯学習フェスタでもブースを出していただいている。そういう場を活用していただきたいと思う。
- 委員 市内には多くの企業がある。年齢層が高いところと、若い方が多いところと、2分化している。魅力ある企業を誘致して、若者が就職しやすいところを作っていくことが重要である。
- 会長 大学でも県内企業に勤めるように案内しているが、学生が知らないということもある。学生はテレビを見ておらず、スマホを見ている。地元の企業を知らない学生にどうやって伝えていくか努力する必要がある。序章について、いろいろな意見をいただいた。何か他にもあれば意見書でお願いします。
  
- 事務局より資料4、5について説明
- 会長 関連するSDGsをもう一度見直していただきたい。一般論としてはこれでいいが、美祢市として重要なものを示すべきでは。海と接していないので、それに関連するものがあると混乱する。
- 委員 SDGsの関連の記載は根底にSDGsがあるという考えか。
- 事務局 SDGsは、各市が単独で目指していくものではなく、世界的にみんなで目指していくものが土台にあるもので、その根幹に施策を定める体系になっている。
- 委員 そうすると、観光の振興の方針にある様々な力を最大限に活用しとすることができないという、ジレンマに陥ることもある。施策や事業を考えるときに、障害となっても地球全体のことを考えることがいいと思うが、難しい面がある。
- 副会長 この項目だけで良いか、ということを検討する必要がある。17項目全てが重要で、個々に位置付ける必要があるのかと思う。
- 委員 私はあって良いと思う。個々で気を付けるべき事項だけど、意識するために必要だと思う。
- 委員 先ほど副会長が言われていたが、施策の軽重のつけ方と順番なども整合性を取っていただきたい。
- 事務局 SDGsの在り方についてご意見を複数いただいた。計画に記載することが法令等で決まっていることではないが、市民やいろいろな方と関わって進めるものもあるので、事務局としては残していただきたい。どれを入れるか、外すかは委員の方から意見をいただきたい。
- 会長 施策にとってSDGsの重要度の順番があると思う。それに気を付けていただきたい。
- 副会長 SDGsを本当に位置づけるということであれば、最初の体系図やどこかに、掲げる意図、説明を載せた方が良いと思う。
- 会長 色々意見があったが整理していただきたい。別の話になるが、秋吉台の国際芸術村などは活用しないのか。県の施設だが、活用しない理由はないと思う。
- 委員 5年前にそれは廃止しようという話があった。芸術村は音楽家などの利用を主にして

いるが、活用状況が低い。コロナの影響もあり中途半端な状態で、負の遺産になりつつある。宿泊棟があるので、観光資源として活用すればよいのでは。

- 会長 高校生のブラスバンドの合宿などで利用すればいいと思っていた。いいものもっている。
- 事務局 具体的な意見をいただいている。意見は、基本計画に反映すべきもの、個別計画や具体的な事業に反映すべきものの整理はさせていただく。
- 委員 計画の分野に強弱をつけることは重要であるが、行政が実行する上で、どの分野も重要な案件が多い中で、軽視される施策が出てくるという認識が出てきてしまうのが懸念。デジタル化の文言が多く記載されている。高齢者などの利用者の目線に立ったデジタル化をお願いしたい。またデジタル化に合わせてセキュリティという点も注意していただきたい。
- 会長 今はどこにいてもデジタルでローカルニュースが見られる。
- 委員 アナログも良いものがある。
- 委員 地域に保健師がいない中で、タブレットでできると説明を受けたが、それが実際は難しいこともある。最近全部本庁に来て用事を済ませている状況。スマートも大事だが、そういった点も配慮いただきたい。
- 事務局 デジタル化の関係は49ページで記載させていただいている。ご意見をいただいたデジタルデバイドの関連もその旨記載している。意見を意識して取組を進めていきたい。

### (3) その他

事務局より資料6のスケジュールについて説明。

次回の会議：令和6年8月30日（金） 13時30分～

## 6 閉会

事務局より閉会の挨拶。